

みんなの健康ラジオ

『頭頸部腫瘍』

(2022年2月24日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜労災病院

塩野 理

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- 耳鼻咽喉科では、頭蓋底から鎖骨上まで、眼球を除くすべての臓器を扱う→耳、鼻、口、咽頭、喉頭、頸部
- 老若男女すべて
- 内科的治療、外科的治療どちらも行う
- 耳鼻咽喉科領域における治療のうち、外科的治療のことを頭頸部外科と言う

頭頸部腫瘍

- 人間の身体は、どの部分にも腫瘍ができることがあります
耳鼻咽喉科領域における腫瘍性疾患のことを
頭頸部腫瘍と言う
- 腫瘍には良性と悪性と悪性とがある
- 耳鼻咽喉科で有名な悪性腫瘍としては、舌癌や
喉頭癌、咽頭癌がある

頭頸部腫瘍

- 腫瘍の治療として、手術で取り切れる大きさの場合、手術が最も治る確率の高い治療である
- 耳鼻咽喉科領域には、聴覚、平衡感覚、気道、嗅覚、咀嚼、嚥下、呼吸など重要な機能を担う臓器が含まれる
- 良性腫瘍は腫瘍だけ取れば終わるが、悪性腫瘍の場合安全域をつけて大きく切除しなければならない
- 手術で大きく取ってしまうと、機能も同時に失う
例) 舌：しゃべったりものを嚙んだりする
例) 喉頭：声を出す
- 機能を温存しながら、腫瘍も治さなければならない

集学的治療

- 手術、放射線治療、抗がん剤治療を組み合わせ、機能を温存しながら、治療効果をあげる工夫
- とくに進行癌の場合、手術で取り切れても、一定の確率でがんが再発したり遠隔転移したりする
- 術前や術後に放射線治療や抗がん剤治療を組み合わせ、再発や遠隔転移の危険性を低くする
- 患者さんに合わせた治療の計画が必要になる
→主治医をはじめとする医療側との相談が重要